

2026年4月22日
SCSK株式会社

観光 DX サービス「Connexia」を首里城公園に提供開始 ～観光体験の充実と経済効果の向上を図りつつ、「直行直帰型」観光の解消へ～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、スマートデバイス向けWebアプリケーションと、個人情報の登録を必要とせず一人ひとりに適した体験を提供する One to One マーケティングシステムがセットになったクラウドサービス「Connexia(コネクシア)」を開発しました。その第一弾として、一般財団法人沖縄美ら島財団(本部:沖縄県国頭郡本部町、理事長:湧川 盛順、以下 沖縄美ら島財団)が管理する首里城公園にて 2026年4月20日から本サービスを搭載した「首里城アプリ」の提供を開始しました。



1. 背景

沖縄の歴史・文化の象徴である首里城は 2026 年秋に正殿の完成を控えており、国内外からの観光客が増加することが見込まれています。一方で、正殿周辺などの特定エリアへの過度な集中によるオーバーツーリズムなどの課題が懸念されていることから、来園者を周辺地域へ分散・誘導することで、混雑緩和と観光体験の質向上を両立させる「集中分散」や「周遊促進」の仕組みづくりが求められています。

SCSKは、沖縄県と 2021 年 6 月に「首里城復興における DX 推進に関する連携協定」を締結しており、首里城公園および周辺地域においてデジタル技術を活用した課題解決に取り組んできました。本サービスは、これまでに培った多角的なデジタル技術活用の知見を活かし、来園者のアクションに応じて周辺施設での優待などの特典を付与する仕組みを構築することで、来園者の自発的な行動変容を促し、ストレスフリーな観光体験と周辺地域を含めた経済活性化の両立を図ります。

2. サービスの特長

本サービスは、アプリのダウンロードや個人情報登録を不要とし、来園者の心理的負担を抑えながら One to One マーケティングを実現する観光 DX サービスです。

- **NFT(Non-Fungible Token)を活用した新しい体験価値**
来園や周遊、イベント参加などの行動に応じてデジタルメダル型 NFT を配布し、来園の証は「デジタル資産」として半永久的に保有・コレクションが可能です。
- **個人情報を取得しないデータ活用**
氏名・連絡先を取得せず、NFT の保有・取得履歴を活用できるため、来園頻度、周遊エリア、参加イベントでの「行動パターン」や嗜好などを可視化し、個々の熱量や関心に応じた最適なエンゲージメント向上施策を実施できます。

■ 柔軟な特典設計

取得した NFT には、周辺施設での優待や限定イベントへの参加権などの特典(ユーティリティ)を柔軟に付与できます。この仕組みを用いてアクションと特典を設計することで、来園者の行動変容を促し、オーバーツーリズムなどの課題解決を図りつつ、周辺地域含めた施設等の活性化・収益向上につなげます。

3. サービスの機能

本サービスは、「ユーザー向け Web アプリケーション」と「事業者向け管理・マーケティングシステム」の 2 つで構成されています。

(1)ユーザー向け Web アプリケーション

- ・ ミッション機能 : 管理画面で設定した周遊ミッションや再来訪ミッションを表示
- ・ デジタルメダル取得機能 : 二次元コード読み込みで簡単にデジタルメダルを取得・一覧管理
- ・ 特典取得・利用機能 : ミッションクリアに応じて特典を取得・利用
- ・ お知らせ・通知機能 : 個々の来園者向けにパーソナライズされたお知らせを表示
- ・ 外部サービス連携機能 : マップ表示、多言語対応などの機能をワンストップで提供

【デジタルメダル取得から特典チケット使用までの流れ】



(2)事業者向け管理・マーケティングシステム

- ・ デジタルメダル取得状況確認機能 : 来園者のデジタルメダル取得状況をリアルタイムで把握
- ・ 特典取得・利用状況確認機能 : 特典の取得状況や利用状況の可視化
- ・ ミッション・特典設定機能 : メダルや特典の取得状況、イベントに応じてミッションや特典を柔軟に設定

4. 今後の展望

沖縄県内の観光施設や自治体、観光協会など、施設単体の活用にとどまらず、周辺エリアを含めた地域全体の活性化や課題解決につなげていくことを目指しています。これらの取り組みを通じて、沖縄県が目指す「暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり」の実現に貢献していきます。

今後は沖縄県内に加え、他地域の観光拠点との連携をさらに拡大していきます。将来的には、観光分野で培った「個人情報に頼らない人流誘導」や「エンゲージメント向上」の仕組みを、各地域が抱える固有の社会課題解決にも幅広く適用し、持続可能な地域社会の実現に寄与することを目指します。

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」「いきいきと活躍できる社会の実現」に資するものです。

- － 来園者の分散・誘導により、オーバーツーリズムの解消と観光体験の質の向上に貢献
- － 周辺地域を含めた経済活性化や地域課題の解決を通じて、持続可能な地域社会の実現に寄与
- ・ SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

SX 事業グループ

みらい創造事業本部 地域共創事業開発部

E-mail: connexia-sales@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 岡本

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。